

## 第5回東北自治体学会企画

### 「震災で痛感した住民とのコミュニケーション不足をどう克服するか」

#### ○当企画のねらいと内容

##### 【第1部 ワークショップ】

☆ファシリテーションアドバイザー 土山希美枝さん（龍谷大学教授）

今年度は熊本地震が起き日本が災害列島であることを再認識しました。東日本大震災からの震災対応や復興の経験を次の被災地へ発信し伝えることを考える企画とします。復興までの様々な課題の共通点として「住民とのコミュニケーション不足」「自治体職員のファシリテーション能力不足」が解決を遅らせたり、間違った選択をしてきたと痛感したことを踏まえ、参加者全員が聴き・考え・話す場としたいと思います。

九州自治体学会会員、被災地で行政とかかわった民間の方などの話題提供を受けてワークショップをします。

##### 【第2部 基調講演】

☆講師 今井照さん（福島大学教授）

福島大学教授として18年間、東北各地に有能な自治体職員を輩出してきた今井照先生が今年度で退任されますので、東北をはじめ全国のまちづくりに頑張る人たちへメッセージをいただきます。今企画のテーマである「住民とのコミュニケーション」や「被災・復興の経験を次の自治体へ伝えること」にも言及していただける予定です。

#### ○日時

10月22日（土）13：00～17：30（終了後、18：30～交流会）

#### ○会場

朝日新聞仙台ビル5階会場

〒980-0014 仙台市青葉区本町2-2-6・仙台駅から徒歩10分程度

#### ○参加申込

「こくちーず」<http://kokucheese.com/event/index/420499/>

10月10日まで（60名定員になり次第締め切り）

#### ○参加費

1000円（交流会、別途実費）

☆お問い合わせは、東北自治体学会メンバーまたは「こくちーず」まで☆